

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立岡山工業高等学校	
実践者等		白石 知之	実践日 令和4年7月11日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		世界史	
対象生徒(学年等)		2年生	
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能 ■思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう力・人間性等	
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 ■対話を充実させる活用 ■思考を促す活用 <input checked="" type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 ■課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他()	
	家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り ■探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着	
	実践の内容		
<p>【授業】 テーマ：歴史に関するテーマ設定（「〇〇の歴史」）をおこない、その歴史が現代にどのような影響を与えているか、自分なりの考察を書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書室で書籍や端末を活用して情報収集をおこなう。 (2) 引用と自分の意見を明確に区別する。引用文は「 」でくくり、出典を明記する。レポートの最後には参考文献を示す。 (3) Google ドキュメントで作成する。レポートはClassroomで提出する。 (4) 教師はレポート内容を評価し、Classroomで生徒にコメントをする。 (5) 4人グループで、各自のレポートを発表する。 (6) 発表後は相互評価をおこない、メンバーの良い点や発表を聞いて新しく勉強になったこと等を振り返る。 </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">「輸血の歴史」についてのレポート</p> <p>生徒の考察では、「羊の血液を輸血したことはすごく驚いた。でも昔はそれが常識だったということを知って、もしかしたら今の常識は未来では非常識になってるのかなど思ったりもした。」といった歴史から学ぶ表現があった。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			
<p>【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 課題の作成にあたっては50日程前に提示する。その期間の授業では、レポートを書きやすくするヒントとして、授業の冒頭で関係書籍『砂糖の歴史』(アメリカ独立革命に関連)や『時間の歴史』(産業革命に関連)等を紹介する。 (本時後) レポート内容の発表を聞き、「新しく勉強になったこと」「他のメンバーの良かったところ」などを記入し、発表した人に渡す。 よく考えている作品を集めて、冊子にして図書室に展示する。 また、今後の授業で生徒の作品を紹介し、資料として授業内で活用していく。</p>			